



【第132回】

khronos (クロノス)

企業コード：582248286

住 所：大阪市淀川区西中島6-1-3

電 話：06-6390-3801

設 立：2004年5月 資本金：1,000万円

代 表：前田美香氏

事業内容：システム開発・人材教育業

管理系システム開発会社として独立

前田社長は、システムエンジニアとして中堅のシステム開発会社に勤務。大学向けのパッケージ製品の開発リーダーとして、クライアントの折衝から設計・導入までシステム開発に関係する幅広い業務に従事した。当時の取引先の支援を得て2004年に独立。設立当初は自社で小規模なシステム開発を請け負っていたが、3年目からはエンジニアの派遣も行うようになった。そして、実績を積み重ねる中で、コンサルティング業も請け負うようになった。外注業者の倒産による混乱などはあったものの、得意先は大手企業系列のシステム会社など優良企業が中心であったことや、取引先の協力なども得てそれを乗り越えることが出来た。

システムエンジニアの教育事業に進出

自社で中規模なシステム開発を手掛けるようになり、他社からの派遣社員を受け入れるようになって前田社長が感じたのは、中小のシステム会社に勤務するシステムエンジニアの教育を受ける機会の少なさだ。システム開発は、構築すべきシステムの目的や、実装すべき機能などを明確化する「要件定義」、それを実際にどのようなシステムで実現するかという「システム設計」、設計に基づいた実際の「プログラミング」という工程に分かれるが、プログラミングに従事するエンジニアは、その業務だけを行い「要件定義」や「システム設計」に関与する機会がなく、技能を修得することが難しい。また、会社側にも、そのような技能を持つ社員を体系的に育てる余裕がないことが多い。

そこで、2007年から新入社員向けのエンジニア教育事業を開始した。社長や当社の社員が実際に専門学校や教育会社の講師を務めていた経験を活かして教育内容を吟味。受講者同士が協力して、システム開発を要件定義から全工程を経験する教育プログラムを作成した。その内容が評価され、現在まで事業は拡大し続け、安定した収益を生み出す事業となった。

教育事業の波及効果が本業へ

また、このような教育事業を行っていることが、本業であるシステム開発事業にもプラスの効果をもたらしている。体系化された教育をしている会社と



前田社長

得意先が判断し、それまで以上に受注を確保できるようになった。現在のkhronosのシステム開発の特長は、単なるシステムの提案だけでなく、業務上の問題解決や業務改善を提案した上で、それを実現するようなシステムの構築を行う点にあるが、このような提案を実施、実現するには経営陣だけでなく、社員全員の高い意識が必要となり、教育プログラムは自社の社員教育にも利用されている。そして、自社で教育プログラムを持っていることが人材採用の面でもプラスに働いている。

10周年を迎えて新事業に進出

過去に厳しい時期はあったものの、今年5月に10周年を迎えたkhronosは、新たな事業に進出する。教育事業では、これまでの新入社員以外も対象とした定額研修を開始した。これは会社が一定の金額を支払えば、社員が何人でも、どれだけでも受講できるというものだ。講義レベルも技術者経験3年以下、3～5年、6～10年と経験年数に応じたプログラムを用意しており、10年かけてシステムエンジニアを育成していく教育プログラムとなっている。これで体系化された教育が難しい中小の会社の要望にも応じることが可能となった。

また、システム開発事業でも、これまでに取得したノウハウを活かした学校向けの卒業生管理用の「校友会システム」の他、「不動産管理システム」、「販売管理システム」などのパッケージソフトを販売し事業拡大を図っていく。このような取り組みを通じて、20周年、30周年を迎えるべく事業を進めている。